

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	ソフト事業	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	-------	-----------

事業名	604	収穫まつり開催事業	区分	01	一般会計
基本施策	43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す	06	01	農林業費
施策	2	販路拡大、PRの展開	03	03	農業費
			01	03	農業振興費
			101	03	農業振興経費
			細々目	03	収穫まつり開催経費
基本計画該当頁	162	担当部課	コード	703500	評価者氏名
行革大綱の重点事項番号		名称	大山田産業建設課	氏名	廣田 稔
				連絡先	47 - 1157 (内線)

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	大山田支所管内の市民 (対象件数)	地域産業の発展と住民による地域づくり、都市住民との交流が図れた
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
本年度事業内容	会場設置委託料 3,000,000円 委託先: 大山田収穫まつり実行委員会 委託内容: まつりの企画・運営・準備・片付け	状況変化等

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体委託先	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等	人
2 配置(予定)人員		千円
3 年間運営費		
4 市内の類似施設		

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
出店団体	団体	目標 45	目標 45	45	45
		実績 45	実績 45		
出店ブース数	箇所	目標 59	目標 55	55	55
		実績 55	実績 55		
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
来客数	まつりの来客数により、盛況ぶりを判断する。	人	目標 8,000 実績 8,000	目標 8,000 実績 8,000	8,500	9,000
			目標	目標		
			実績	実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	地域の団体や組織を中心に模擬店を出店していただき、団体の活動をPRする場を提供することにより、地域産業の発展と住民による地域づくりや地域間交流を進めている。
有効性	3	地域の団体や組織を中心に模擬店を出店していただき、団体の活動をPRする場を提供することにより、地域産業の発展と住民による地域づくりや地域間交流を進めている。
達成度	3	旧大山田村以外の市民の方が来場され、大山田管内の地域産業や地元団体活動のPRができた。
効率性	3	出店は地元団体で構成されており、ほとんどが赤字覚悟のボランティアであり、これ以上の経費削減はできない。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	予算を削減するなら規模縮小するしかなく、今後は伊賀市全体として秋祭りやイベントについて、統一等考えていかなければならない。

年度	進捗状況	平成17年度 決算内容				平成18年度 決算内容				平成19年度 計画内容				平成20年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額(千円)												
委託	←→	委託料			3,800	委託料			3,000	委託料			2,700	委託料			2,700
工事	←→																
進捗率(%)		事業費計(A)			3,800	事業費計(A)			3,000	事業費計(A)			2,700	事業費計(A)			2,700
事業投入人員		人件費(B)	0.2	人	1,296												
フルコスト(A)+(B)					5,096				4,296				3,996				3,996

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	3,800	3,000	2,700	2,700
Aの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
受益者負担				
その他				
一般財源	3,800	3,000	2,700	2,700
計	3,800	3,000	2,700	2,700
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等			